

八王子市のワクチン供給状況について

本市の必要ワクチン数は82万回分[51万人(12歳以上人口)×0.8(目標8割接種)×2回]です。これに対し、8月26日までに本市へ提供されたファイザー社製ワクチンは63万回分で、残り19万回分が必要になります。

しかし、そのうちの13万回分は、『八王子市民が、職域接種(勤務先などでの接種)や自衛隊大規模会場等で、モデルナ社製ワクチンを接種する推定数として配分済みとみなし、今後の配分数を調整する』と国から説明があり、9月中(1か月間)に本市に配分すると国から示されたファイザー社製ワクチン数は、6万回分になりました。(82万回-63万回-13万回=6万回)

なお、8月26日現在、八王子市民が実際に接種したモデルナ社製ワクチン数は5万回分で、今後同じペースで10月末まで接種が進んだとしても7万回の見込みであり、配分済みとして調整された国の推定数(13万回)と実績見込み(7万回)には乖離が生じています。

このように実績に基づかない数字によりファイザー社製ワクチンの供給数が決定していることから、現時点のワクチン量では、9月20日以降、予約枠を全て開放することができない見通しです。東京都に対して各区市町村のワクチン配分量の調整を要望していますが、ワクチンの追加配分と本市の予約枠の開放は不確定な状況になっています。

職域接種や大規模接種会場での接種へのご理解ご協力について

八王子市はワクチン接種のための医療従事者や事務スタッフ、接種会場など、接種能力を確保していますが、現在、ワクチンの供給が十分でないことから、16歳以上の市民の皆様に職域接種や大規模接種のために市外の会場に足を運んでいただかなければならない状況が生じています。

引き続き、東京都に対してワクチンの追加配分を要望してまいります。12～15歳の方は市内での接種しか選択肢がないため、職域接種や大規模接種会場での接種機会がある16歳以上の方は、そちらのご利用も進めていただきますよう、お願い申し上げます。